YANMAR

W!F Vol.16 農業の夢追人

Wonder Field

北海道版

Wonder Field vol.16（北海道版） 平成22年3月発行 / 編集・発行 ヤンマー農機販売株式会社「Wonder Field」編集部 〒530-8321 大阪府大阪市北区茶屋町1-32

特集

農業の明日を担うワカモノたちの今。

元気と希望あふれる農をめざして

日本の農業を、若い世代へ継承していくために

農業を就職先のひとつとして考える
「新・農業人フェア」リポート

若い視点がとらえる新しい農業ビジネスモデル
世界へのアプローチを目指す、（有）ファーム松宮

農政 TOPICS

自給率向上のための新しい農政。

戸別所得補償モデル対策が4月からスタート！

先進農業事情

・秋田県潟上市飯田川和田妹川 ファームQ営農組合
若者中心に楽しい農業を展開

・大分県宇佐市 池田喜太郎さん
稲WCSを基軸に耕畜連携

皆様の温かく力強いサポートのおかげで、
セレッソ大阪は、4シーズンぶりにJ1復帰を果たすことができました。
今シーズンは、J1の舞台で「攻めきる～最後の笛が鳴るまで～」を
スローガンにチーム一丸となり全力で戦って参ります。
皆様の温かいご声援をよろしくお願い致します。

YANMAR

2010 Jリーグ ディビジョン1　試合予定

節	試合日	曜日	時間	対戦相手	会場
1	3/7	日	15:00	大宮アルディージャ	NACK5スタジアム大宮
2	3/14	日	16:00	ガンバ大阪	大阪長居スタジアム
3	3/20	土	19:00	FC東京	味の素スタジアム
4	3/27	土	16:00	浦和レッズ	大阪長居スタジアム
5	4/3	土	13:00	京都サンガF.C.	大阪長居スタジアム
6	4/10	土	16:00	横浜F・マリノス	日産スタジアム
7	4/18	日	13:00	湘南ベルマーレ	大阪長居スタジアム
8	4/25	日	14:00	名古屋グランパス	大阪長居スタジアム
9	5/1	土	15:00	ベガルタ仙台	ユアテックスタジアム仙台
10	5/5	水・祝	14:00	鹿島アントラーズ	大阪長居スタジアム
11	5/15	土	17:00	ヴィッセル神戸	大阪長居スタジアム

2010 ヤマザキナビスコカップ　試合予定

試合日	曜日	時間	対戦相手	会場
4/14	水	19:00	アルビレックス新潟	大阪長居スタジアム
5/22	土	14:00	京都サンガF.C.	西京極総合運動公園陸上競技場兼球技場
5/26	水	19:00	名古屋グランパス	瑞穂陸上競技場
5/29	土	14:00	ベガルタ仙台	大阪長居スタジアム
6/5	土	14:00	大宮アルディージャ	NACK5スタジアム大宮
6/9	水	19:00	FC東京	大阪長居スタジアム

ホームゲーム

ヤンマーはセレッソ大阪パートナーカンパニーです。

安心を、未来へつなぐ食料自給率1%アップ運動
FOOD ACTION NIPPON
おいしいニッポンを。
ヤンマーは、FOOD ACTION NIPPONの推進パートナーです。

Wonder Field 不思議・驚き・好奇心。大地に夢を求め、農業に人生を託し、プロフェッショナルをめざす夢追人。そんな人々を応援する情報誌です。

稲穂の国
博物誌
Series 01

祈りの神事は時を超え、高千穂の深き夜に舞う。

五穀豊穣、無病息災を祈り夜を通して舞う。平安時代後期から鎌倉時代にかけて歴史に登場してきた「神楽」の原形は古より行われてきた神に捧げる感謝と祈願と神託の舞い。そこには連綿と流れる日本人の農耕の心とともに遠い祖先の記憶を私たちが追体験できるさまざまな暗喩が込められている。

天の岩戸を探り当てる様子の手力雄（タヂカラオ）の舞

　神楽、その起源は遥か悠久の太古、日本神話に登場する天の岩戸伝説まで遡る。天の岩戸に隠れた天照大神（アマテラスオオミカミ）を誘い出すため、その前で天鈿女命（アメノウズメノミコト）が面白おかしく舞ったという有名な話だが、天照大神は太陽神であり、その再来を願うというシナリオは、太陽の恵みを期待する農耕民の祈りそのもの。つまり、神楽はその起源からすでに農業神事だったと言える。

　神楽は、北は北海道から南は鹿児島県まで、各地方の村々で五穀豊穣を願って演じられ、その数は万を超えるとも。海に近いところは派手で勇壮、かたや山里では地味で穏やか。地方によって演目が異なるなど、生い立ちや風土、農業形態などによって変異が生じ、神楽の数だけ種類があると言われている。

天鈿女命（アメノウズメノミコト）

【そこは神聖かつ祝祭の場

　高千穂は、九州山地のほぼ中央に位置する山間の盆地だ。祀る神様は、山の神と五穀豊穣をもたらす水源の神。その神様を神楽宿と呼ばれる民家に招き、夜を通して三十三番の神楽を奉納し、ともに楽しむというのが高千穂夜神楽だ。毎年十一月二十日頃から二月上旬まで、日を替え、町内十九の集落で舞われる。神楽宿は輪番制で決められ、舞い手は村人。修行すれば誰でも舞うことができる、非常に土俗的な色合いの強い神楽だ。

　神話に則った神妙な演目もあれば、太鼓の上で逆立ちをするアクロバティックなものや、観客を巻き込んで夫婦それぞれが浮気をするという笑いを誘う演目もある。神聖でありながら、笑い楽しめる祝祭の空間、エンタテイメントの場でもある。神楽が、能楽、歌舞伎、漫才などの芸能の起源と言われるのも納得できる。

豊かな実りをもたらす見事な高千穂の棚田

【民俗芸能ではなく神事として

　その夜、高千穂神社神楽殿で、多くの人の熱気に包まれて高千穂神楽を観た。三十三番のエッセンスを一時間に凝縮した「観光神楽」だが、それなりに神楽の何たるかを感じ、堪能できたように思う。優雅な舞いに身をゆだねてしまえば、ゆっくりとしたリズムが心地よい。

神話の里・高千穂にふさわしい
神秘的な美しさを誇る高千穂峡

　百年前の神楽を想像した。かがり火に浮かび上がる仮面の神たちは恐ろしく、そこはまさに幽玄の世界だった。それを観る村人の目は仄かな光に輝き、年に一度の夜祭を楽しんでいた。その頃は本当に神様とともに神楽を楽しんでいるという感覚が、リアルにあったのではないだろうか。だからこそ神事として当たり前に受け継がれてきたのではないだろうか。

【神楽が未来に引き継ぐもの

　農業は人と神との共同作業だ。人と自然との共生の賜物である。高千穂の美しい棚田を眺めると、そこに自然を敬う気持ちや地域の結びつきを醸成する、神楽の力を感じずにはおれない。そしてそれが、日本から失われつつある今、神楽を伝承することが、日本の農業の心を次世代に引き継ぐことにつながりはしないだろうか。

　高千穂では子供たちは保育園や小学校低学年の頃から神楽に触れあい、五・六年生になると、運動会や学芸会で神楽を舞う。まさに未来の神楽を育てている。

　「神楽はなくならないでしょう」と、地元の人が言った。おそらくほとんどの高千穂の人たちはそう思っているに違いない。高千穂の人々の心に神楽は自然に在ると感じた。それは、何百年という歳月によって刻まれた、高千穂人のDNAなのかも知れない。

※記事制作にあたり、高千穂神社・後藤 俊彦宮司にご協力をいただいた。御礼申し上げたい。

Contents

稲穂の国博物誌
Series 01 高千穂夜神楽 1

特集 ー農業の明日を担うワカモノたちの今ー 2

①「新・農業人フェア」リポート 4

②生産と販売の両輪を駆動しながら、
世界へのアプローチを目指す、（有）ファーム松宮 6

農政TOPICS ー戸別所得補償制度についてー
米戸別所得補償モデル事業・水田利活用自給力向上事業 8

YANMAR INTERVIEW
幼い頃からの願いを実現!
畜産の楽しさにのめり込み日本一の
牛飼い目指し佐賀牛の繁殖に邁進
第10回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集
作文の部・銀賞受賞者　東島恵美さん 10

先進農業事情
●種苗交換会で大豆が農林水産大臣賞を受賞! 集落営農で高性能機械を導入し、若者中心に楽しい農業を展開
秋田県潟上市飯田川和田妹川 ファームQ営農組合 12

●大分の稲作農家が地域の畜産を変える! 稲WCSを基軸に耕畜連携し、夢のある経営をめざす
大分県宇佐市 池田喜太郎さん（株式会社グリーンフィールド代表） 14

AGRI SOLUTION
耕作放棄地の再生利用のために 16

新商品紹介
クローラトラクター「CT552/CT652」紹介 18

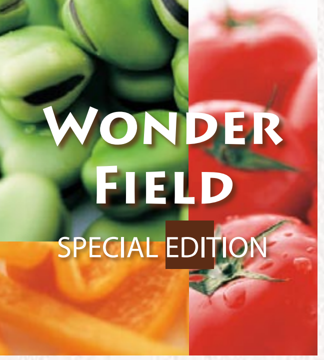
自分でできる点検・診断講座
田植機編 20

旬の農業書ご紹介 22

Healthy Cooking
フライパンでできる簡単手作りピザ ー米粉の巻ー 23

速報!第20回ヤンマー
学生懸賞論文・作文入賞者発表!!
ニッポンを農林水産業から元気にする
農林水産広告賞 24

応援します!笑顔のあなた
わが家のステキな女性へ!Wonderful Women 25



特集 農業の明日を担うワカモノたちの今。
元気と希望あふれる農をめざして

日本の農業を、若い世代へ継承していくために

近年の途上国を中心とした人口の急増や中国などの経済発展から食料需要が増加し、世界的な食糧需給がひっ迫する中で、我が国の食料自給率は40％まで低下しています。現在検討されている新しい「食料・農業・農村基本計画」では10年後に食料自給率50％を目指そうとしています。

一方、子供たちへの食の安全性や環境問題などの教育が深まり、その意識が高まりつつある中で、米や野菜などを自分で育てる農業生活に若者たちの興味が、これまでにない形で向けられるようになっています。

特に、100年に1度という不況を体験した一昨年来、若者を中心に農業ブームが高まりつつあるようです。

そこで今回は、今後日本の農業がどう若い世代に継承され変化していくのかという、農業の未来図を探ってみました。

自給率向上のためのテーマと地域での活動例

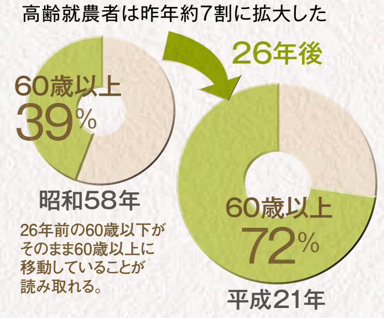
農業の世代交代年になるか

平成22年の今年は、日本の農業にとって、ある大きな意味を持つ年であることにお気づきでしょうか。

それは昭和一桁生まれの人々のすべてが、「後期高齢者（75歳以上）」に移行する年であるということです。終戦から高度経済成長期を通じて、日本の水田農業の主体にあった労働層は、この昭和一桁生まれの人々。そのしっかりとした知識と技術、経験が、日本の農業を支えてきたと言っても過言ではないでしょう。

もちろん後期高齢者とはいえ元気な方々はたくさんいらっしゃいますが、昨年の農水省の調査による年齢別農業就業人口データを見ると、いかに日本の農業が高齢者に依存しているかが明白です（資料①）。これまで日本の農業を支えてきていただいた人々の知識や経験が、少しでも早く若い世代に継承されていかないと、近い将来の農業が危ぶまれないとは言えません。

資料❶ 年齢別農業就業人口の推移
資料：農業構造動態調査報告書データ



農業は起業から就職先へ

しかし平成22年、平成元年生まれの大卒者が社会に飛び立ち始める年を迎えた時代、奇しくも農業がその就職先として大きくスポットライトを浴びることになりました。

平成20年の新規就農者調査（農水省統計）によると、全体の新規就農者人口は約6万人で前年より2割近く減少しているものの、新規〝学卒〟就農者は昨年同等、3,240人と伸びを継続。平成2年から20年までの新規学卒就農者は、全体的に増加を続けています（資料②）。

そして近年特に注目されるのが、雇用就農者数の増加で、前年より3割も増加していることがわかります。しかも、そのほとんどは非農家出身者。これまで農業に縁の無かった若い世代の雇用就農が高まってきているわけで、親から子へという日本の農業の継承スタイルが変貌しつつあると言えます。

平成20年9月のリーマンショックを契機とする経済危機で雇用不安が深刻化したことも、就職先のひとつとして農業に目が向けられるようになったことの背景にありますが、それだけでなく自然志向・環境問題志向の高い新卒者世代の意識も影響していないとは言えません。

実際、新卒就職予定者から関係団体への就農相談やホームページへのアクセスも急増。この傾向は現在も続いているようです。

日本農業の若返りが可能にすること

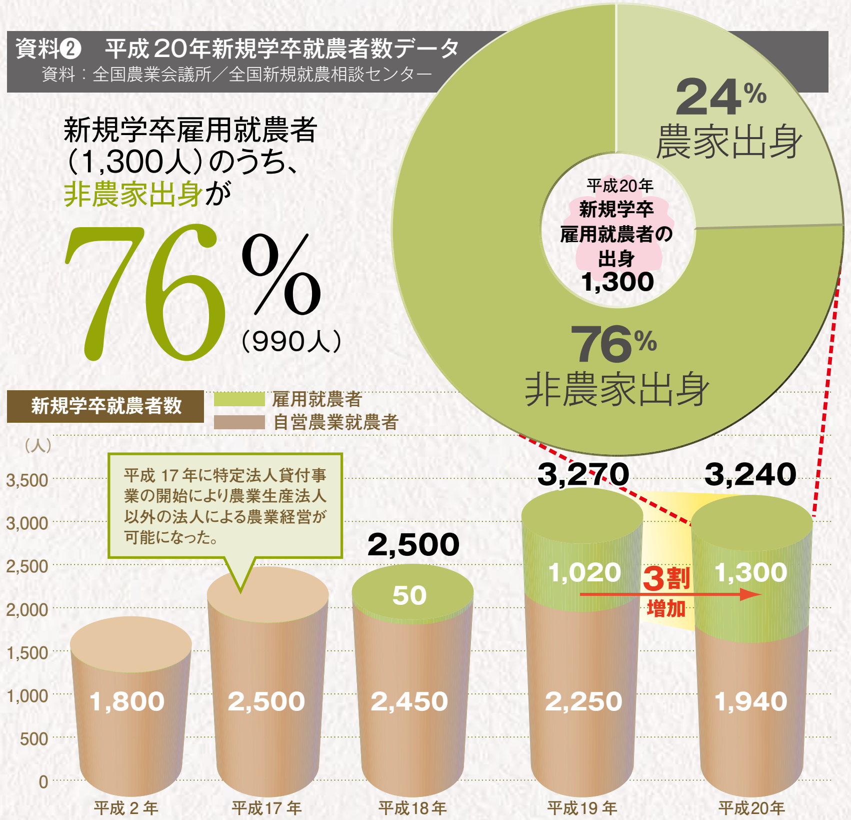
これから、昭和一桁世代から平成一桁世代へと、日本伝統の農業技術と知識が継承されていくことに加え、若返りによって期待される日本農業の新たなパワーアップがあります。

それは〈キカイ力〉〈データ力〉〈ネットワーク力〉の3つ。パソコンの普及と共に育ってきた世代として、生産のためのさまざまな農機はもとより、管理システムの活用。

それに伴う生産データ・農業情報の管理活用。さらには生産から流通に至るまでのネットワークの活用。そのすべてが、かつての就農者層とは格段に異なる新世代能力として発揮されるのです。

このことは、明日の日本の農業活性化と国際的な農業力の向上に、大きな原動力をもたらすものです。その意味でも今年は、農業に目を向け始めた若い世代の力を、地域農業におけるマンパワーとして吸収していくことに、全農家が総力をあげて取り組む若返り元年としたいものです。

資料❷ 平成20年新規学卒就農者数データ
資料：全国農業会議所／全国新規就農相談センター



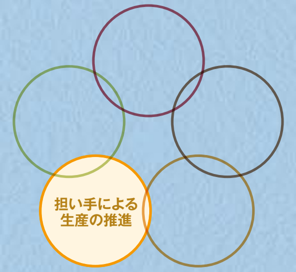
新規学卒雇用就農者全体のうち10代（中・高卒）が**40**%、20代（農大校・短大・大学等）が**56**%

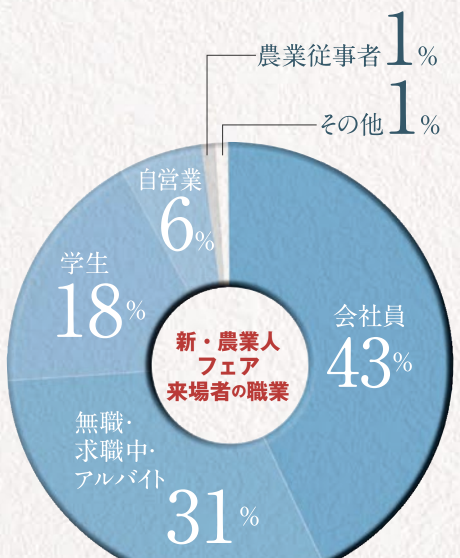
農業を就職先のひとつとして考える

「新・農業人フェア」リポート

農業で独立を目指す人、農業法人に就職したい人などを支援するために全国農業会議所が例年全国の主要都市で実施している「新・農業人フェア」。北は北海道から南は沖縄まで、全国の各自治体の就農担当者や農業法人の就職担当者が一堂に会するこのビックイベントは、1997年の開催以来、延べ約7万人の来場者を迎えてきました。

ところがこのフェアに、昨年からひとつの変化が起こりました。それは若者来場者の急増。昨年は実に来場者の約7割が20～30代だったといいます。その背景はやはり雇用不安。農業で独立というよりも、農業を就職先のひとつとして考える若者が増えているのです。そこでフェアの現場を実際にのぞいてみることにしました。





若者で埋まる『新・農業人フェア』会場

大阪駅からほど近い高層オフィスビルのイベントホールで開催された〝新・農業人フェア〟の会場は、10時半の開場早々から、想像以上の来場者で埋まっていました。そのほとんどを占めていたのが20～30代の若者です。

広いワンフロアの会場は、たくさんのブースにコマ割りされ、そのうち農業法人の会社説明ブースが27。道府県の新規就農相談ブースが39。ほかにも定年者のUターン就農をサポートする団体や農業専門学校などのブースが所狭しと並び、どのブースでも若者が熱心に説明に耳を傾けていた。

若者で埋まる「新・農業人フェア」セミナー会場

会場を訪れていた若い世代の数人にお話しを伺ってみました。

来春、大学の法学部を卒業するという2人の在阪女性は、就職環境が厳しい中、以前から興味のあった農業も選択肢のひとつにしてみようと来場したそうです。会場での相談会を終え、長野県のりんご農園での研修を考えていると話していました。

また、兵庫県から来たという20代の男性は、高校、大学ともに農業関係の就学を終えたばかりで、できれば地元の農業法人に就職したいと相談に訪れたとか。前出の女性達同様に、インターネットで新・農業人フェアが開催されることを知ったそうで、そのあたりも会場が若い世代の多くで埋まっていた背景のひとつとも言えるでしょう。

現代の若者と農業との出会いづくり

たくさん並んでいる農業法人の会社説明ブースの中から、農業生産法人『有限会社かみなか農楽舎』のブースにお邪魔してみました。

福井県にあるこの農業法人は、農業を志す若者に水稲中心の農業研修を行い、将来、若狭町への就農定住を呼びかけている団体で、今年で設立9年目と言います。

ブースで法人の説明をしていた栽培管理責任者の下島栄一さんは、「田舎の農家はやはり高齢者が多く封建的な意識も残っていて、都会の若者が農業をしたいといって来ても、拒まれてしまいがちです。それをまず我々がワンクッションとして受け入れて、農業経験を積むだけでなく、地元の人間関係や田舎の生活を学んでもらうことで、地元農家への就農をスムーズにするのが、この団体の事業目的なんです」と説明されました。

研修には関西からだけでなく東京、千葉など関東圏からも申込があり、この9年間で28名の研修を手がけ、そのうち2年間農業の基本を学んだ20名が、地元農家に就農したそうです。

下島さんの隣で来場者に説明をするスタッフのひとりが、まだとてもお若いような印象なのでお聞きしてみると、なんと昨年は説明を聞く側に座っていたという、大阪府出身で研修1年生のニューフェース。その藪田淳生さんは「このフェアは僕もインターネットで見つけて来たのですが、そこで先輩の方の話を聞いて研修することに決めたんです。大学では陶芸を勉強していたので、将来は半農半陶芸の生活をしたいなと思っています」と若者らしい農業への夢を語ってくれました。

新・農業人フェア会場の一角にはセミナー会場が設けられ、農業法人への就職ガイダンスや若い就農者たちの体験報告が行われています。当日は、近畿圏で独立就農を実現した3人の若者が来場者にそれぞれの体験を語っていましたが、3人共、まず農業という前に自然の中で生活したいという思いがあったこと、そしてメディアの情報を接点に就農の出会いがあったと語っていたことが、若者たちの言葉として印象的でした。

右／かみなか農楽舎のメンバーの皆さん。
左／若者らしい夢を語ってくれたかみなか農楽舎の藪田さん。
下／ほかにもたくさんの農業法人のブースが並んだ。

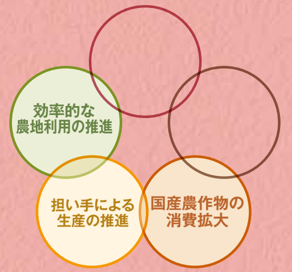
全国農業会議所 全国新規就農相談センター
農家の求人サポート体制

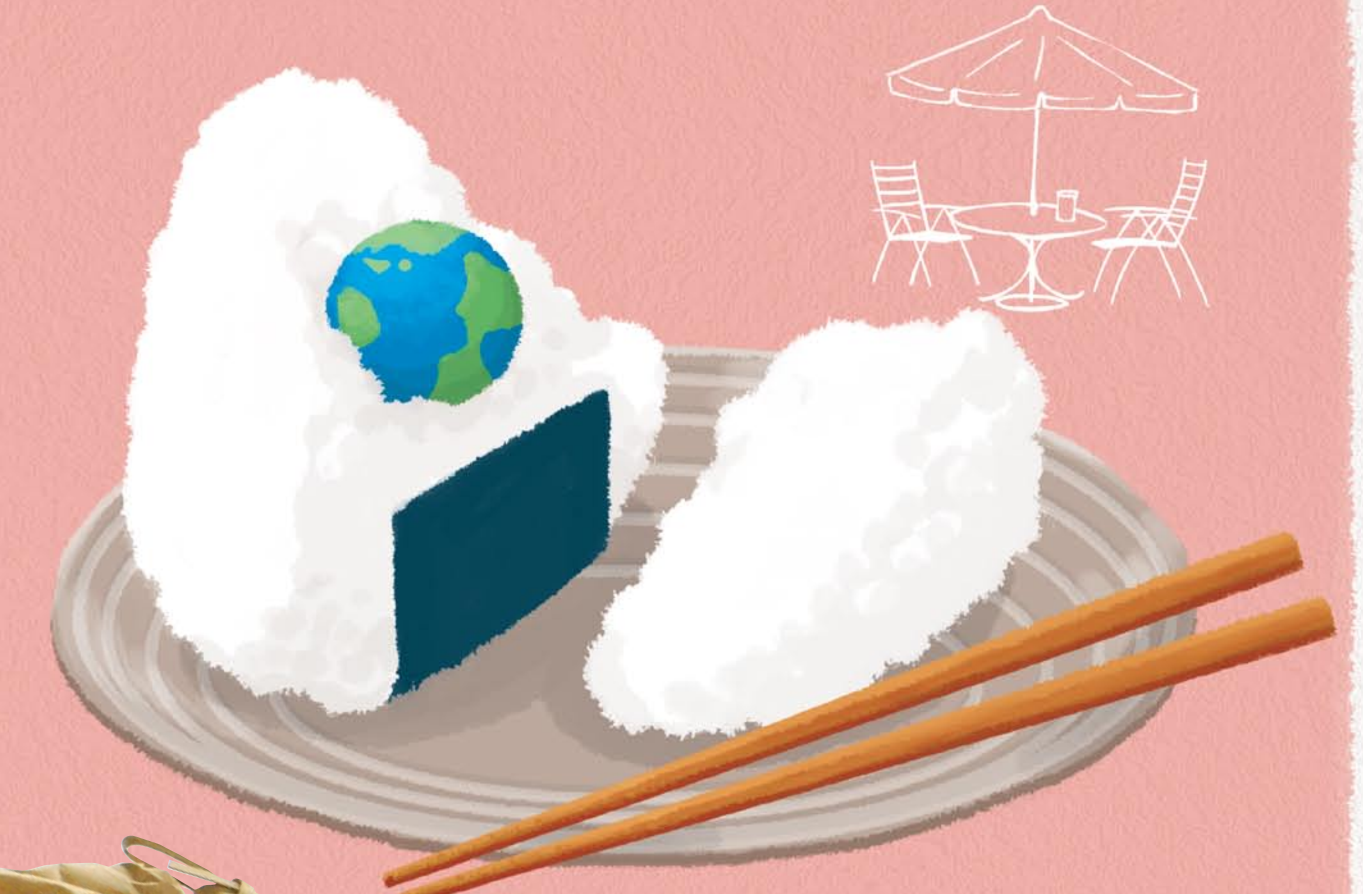
- ●従業員を探されている農家は、相談センターに求人登録書を提出すれば、その内容がインターネット上の求人情報ページに掲載されます。
- ●新規就業者（研修生）を正規の従業員として雇用し研修を行う場合、新規就業者に支払う住居手当、通勤手当等の助成が受けられます。
- ●学生や社会人のインターンシップ（2週間～2ヶ月の体験）を受け入れてくれる農業法人などの募集。インターンシップの受入は、将来の雇用の確保に効果的です。この受入に対しても助成が受けられます。

詳しくは、全国新規就農相談センターへ
TEL:03-6910-1133
ホームページでも紹介しています。
http://www.nca.or.jp/Be-farmer/center/index.php

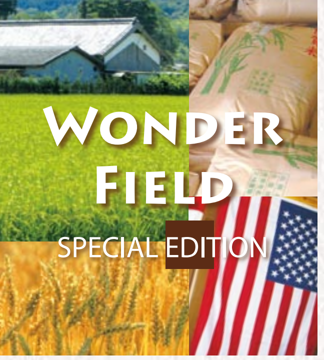
若い視点がとらえる新しい農業ビジネスモデル

生産と販売の両輪を駆動しながら世界へのアプローチを目指す、(有)ファーム松宮





三重県の北西部に位置する伊賀市は、お伊勢参りの宿場町や伊賀忍者といった歴史的観光地である一方、近年は大阪商業圏の影響力と名阪国道の物流利便性を受け、周辺への工場建設等も進んできました。また、コシヒカリの伊賀米や伊賀牛などの生産も、市の基幹産業のひとつでしたが、ここでも農業就業者の高齢化・後継者や担い手の不足・採算性の悪化等により、競争力のある産業として維持することが難しい状況となっているようです。全国の年齢別人口分布と比較しても60～70歳代が突出し、若い世代は観光関連産業などサービス業への就業傾向が強まっています。そうした環境の中で、伊賀の農業を世界へと発信したいと、その野望を着々と実現に向けて頑張っている若い女性農業経営者がいます。今回はその熱い思いを、現地伊賀市で取材してみました。



宮浦清巳さん
大阪市出身／京都産業大学外国語学部卒
サーフィン・ゴルフ・茶道・華道など多くの趣味は伊賀米の営業活動にしっかり役立っている。関西圏のレストランを中心に直販。おにぎりカフェの上海進出に向けて、中国語の猛特訓中。
農場規模：水田23ha
生産品種：コシヒカリ伊賀米

フロリダでの農業体験と儲かる農業への夢

伊賀市で農業に熱く燃えるその女性は、宮浦清巳さん。まだ30代になったばかりの若さながら、(有)ファーム松宮の代表取締役社長です。

もともと父親が地元伊賀市で兼業の米作をしていたこともあって、幼い頃から農業にふれながら育ってきた宮浦さん。大学を卒業後、2年間アメリカのフロリダに心理学の勉強のために留学中、たまたま現地の農業に触れる機会があり、農業への好奇心が湧いてきました。そこで持ち前の行動力を発揮し、帰国後の平成16年1月、父親の所有していた2ヘクタールの農地を基盤に農業生産法人〈ファーム松宮〉を立ち上げました。

「父は私が農業をすることには、当初反対だったんです。人を使うのはムリとか肉体労働だからとか不安だったんでしょうが、途中から協力的になってくれました。周囲からはよく、農業は儲からないとか言われていたのですが、私なら儲かる農業にする自信があると勝手に思いこんでまして(笑)」。

父親の反対を押し切り農地を10倍以上に拡大

農業の基礎や農機の扱いなど、父親や従業員の人たちから農業を学んでいく中で、宮浦さんの中に農地を拡大したいという思いが次第に湧き上がってきました。「農地を広げるのはやめとけ」と言う父親の反対をまたも押し切り、周囲の協力を得ながら農地を次々と拡大。実に数年後には10倍以上の23ヘクタールへと拡大させました。

「若い女性が農業をしていることも、印象強かったのでしょうか。農地を探していると周りに言ってると知らない方から連絡があったり、荒れている田んぼの所有者から好意的に借受の了解を得たりできました。後継者がいない、歳を取ってできなくなったという人が多かったですね」と語る宮浦さんのお話しには、伊賀市の農業の実情が見え隠れします。

レストランへの直販ルートを自分の足で開拓

現在の宮浦さんの仕事は、営業活動が主体。

「農地は大きければいいわけでもなく、実際にやってみると現在の面積が利益効率上ベストだとわかりました。そこで、農地拡大より販路の拡大に力を入れることにしたんです。私にはそっちのほうがカンタンだったみたい」と笑う宮浦さん。大阪を中心に、市内のレストランに1～2升のサンプルを持って行き、食べてみてくださいと名刺と一緒に配って回りました。

所属するライオンズクラブでのご友人達と。幅広い交友関係も売り上げにつながっている。

「大阪では意外と伊賀米が知られてなくて、とてもいい反響がありました。当時、三重県のブランド米だったのになぜか他府県に出せない販売環境に置かれていたので、JAと相談しながら外への販路を拡大していきました」

この販売戦略が功を奏し、(有)ファーム松宮での生産米は直販ルートで毎年完売状態らしく、これからは仕入れ販売も視野に入れているとか。このあたりの行動力も、既存の〝常識〟を打ち破ることのできる若い発想のたまものです。

夢は伊賀米の海外進出その一手はすでに上海へ

宮浦さんの今後の計画は、伊賀米を世界ブランドにすること。そこでまず上海に着目し、先月現地に市場調査に行って米の価格や味を調べて回り、伊賀米進出の手応えを感じてきたそうです。

「伊賀米に、同じ伊賀の名産品であるお茶碗や湯飲みとかの焼き物やお箸をセットにして販売してみたいと思っています。それからハワイや上海などで伊賀米のおにぎりカフェをしたいんです。上海では、おにぎりに有名な茶処のお茶、ご当地味噌汁などをセットにしてランチ販売してみたい」と楽しげに計画を語る宮浦さんは、この海外戦略に備えて、週1回、中国語を習いに行っているとか。

宮浦さんに、農業を目指す若者へのメッセージをお願いすると、「自然が好きとか。人とおしゃべりするのが苦手とか。都会でのつらいことからの逃避に農業をしたいと言う若い人が多いように私は感じます。でも、そういう人はムリじゃないですかね。農業を仕事にするなら、逆に社交的で無いとだめなんでは」と厳しいメッセージ。

しかし、やはり同じ若い世代にもっと農業を意識してほしいようで、いま〝伊賀米ガールズ〟のプロジェクトを着々と進行中とのこと。昨年話題になった『渋谷発ギャル米』の伊賀バージョンです。すでに20歳代の女性10数人が集結しているらしく、(有)ファーム松宮の田植えが若い女性たちのファッションで彩られる日も間近なようです。

自給率向上のための新しい農政

米戸別所得補償モデル事業
水田利活用自給力向上事業

戸別所得補償モデル対策が4月からスタート!

戸別所得補償モデル対策とは
日本の食料自給率を向上していく要となるのは、水田をいきいきと活用しながら、主食用米以外の作物の増産を図ること。そのためには、米の需給調整を効率的に進めながら、**水田作の麦・大豆の単収向上、水田の二毛作の飛躍的拡大、耕作放棄水田を活用した作付の実施**に取り組むことが必要です。
そこで政府では、こうした課題に着実に取り組むために、2つの支援事業をセットにして推進していくことを決定。この4月から、各市町村で事業への加入申込み受付がスタートします。

Topics! Agricultural administration

●2つの支援事業とは

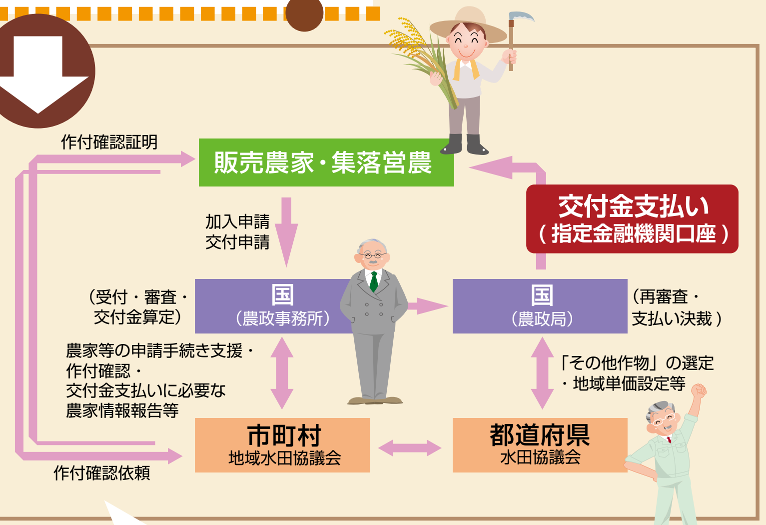
❶米の需給調整を効率的に進めるために
米のモデル事業
（米戸別所得補償モデル事業）
自給率向上のために水田農業を継続できる環境整備を図ることを目的にして、米の生産数量目標に従って生産する販売農家・集落営農の皆さんに、定額の所得補償が国からの直接支払いで実施されます。

❷主食用米以外の作物の増産のために
自給率向上事業
（水田利活用自給力向上事業）
自給率向上のために水田で麦・大豆・米粉用米・飼料用米などを生産する販売農家・集落営農の皆さんに、主食用米と同等の所得を確保できる水準の支援(交付金)が、全国一律で国からの直接支払いで実施されます。

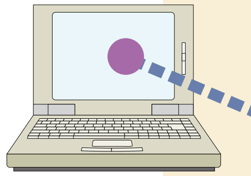
交付金を受給するには、どうすればいいか？

加入申し込み・支払時期
交付金を受け取るためには、加入申込書、交付申請書などの提出が必要になります。
交付金は、**国から農業者が指定した口座に直接支払われます。**加入の申し込みは4月～6月、交付金の支払いは、12月～3月になります。

	農家からの申請	国等からの通知
22年4～6月	加入申請書及び作付面積確認依頼書提出	
9月		作付確認証明の通知
10月	↓	交付対象面積の通知 ↓
11月	交付申請書提出（作付確認証明を添付） ↓	
12月		交付金支払（12月～3月）
23年 1月		
2月		
3月		



集落営農で加入すると
①個別経営よりも効率的な経営が行えるので、**農家1戸当たりの所得が大幅に増大します。**
②集落営農で水稲共済に加入すれば、水稲作付面積が**10アール程度の農家も交付金が受け取れます。**



■戸別所得補償制度に関する詳しい情報は、
農水省のホームページをご覧ください。
http://www.maff.go.jp/j/seisaku/kobetu_hosyo/index.html

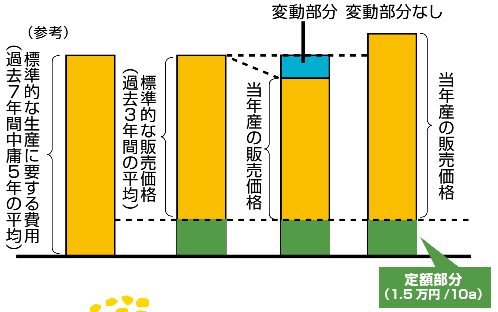
それぞれの事業内容を詳しくご紹介しましょう

米のモデル事業（米戸別所得補償モデル事業）

事業の仕組み

①交付単価
水田での主食用米作付面積に応じ、全国統一単価で交付。

定額部分	主食用米の作付面積 10アール当たり1万5千円を定額交付（全国一律）
変動部分	米の価格が下落した場合には、追加の補てんが行われます。当年産の販売価格が標準的な販売価格（過去3年平均）を下回った場合、その差額を基に変動部分の交付単価を算定



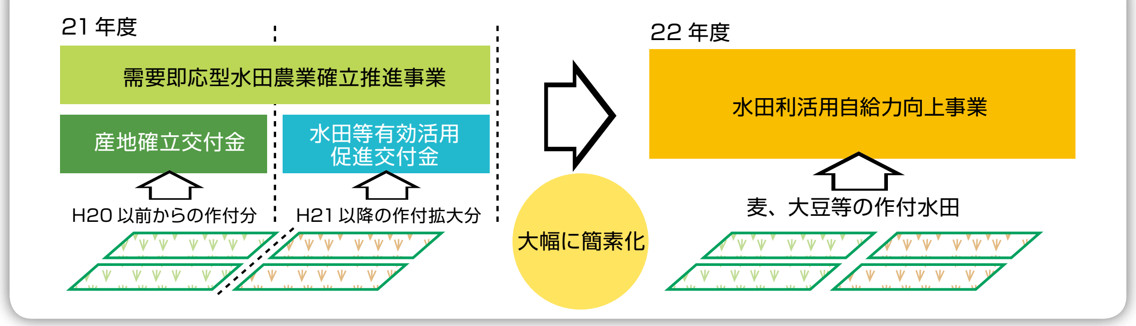
②交付の対象者
米の「生産数量目標」に即した生産を行った販売農家・集落営農のうち、水稲共済加入者又は前年度の出荷・販売実績のあるもの。

③交付対象面積
主食用米の作付面積から一律10アールを控除して算定。

自給率向上事業（水田利活用自給力向上事業）

事業の仕組み •交付金体系が見直され、昨年度よりもシンプルになりました。

交付金体系の見直し（イメージ）



❶交付単価

作　物	単価（10a当たり）
麦、大豆、飼料作物	35,000円
新規需要米（米粉用・飼料用・バイオ燃料用米、WCS用稲）	80,000円
そば、なたね、加工用米	20,000円
その他作物（都道府県単位で単価設定可能）	10,000円
二毛作助成（主食用米と戦略作物又は戦略作物同士の組み合わせ）	15,000円

❷交付要件
捨て作りを防止し、需要に応じた生産を促進するため、実需者との出荷契約等を確認。

※制度変更に伴い交付額が減少する地域に対し激変緩和を措置。※麦、大豆については水田経営所得安定対策に基づく生産条件不利補正交付金（ゲタ交付金）を引き続き交付。（21年度の全国平均で小麦約40,000円、大豆約27,000円）

YANMAR INTERVIEW

幼い頃からの願いを実現！

畜産の楽しさにのめり込み 日本一の牛飼い目指し 佐賀牛の繁殖に邁進

生まれたばかりの仔牛を見守る東島恵美さん

雨に煙る東島さんの牧場

両親が建てた畜魂の石碑

佐賀牛の素牛をつくる頼もしい女性経営者

日本農業と農村の未来について若者たちに夢と若さあふれる提言をいただく「ヤンマー学生懸賞論文・作文募集」。これに上位入賞された方の現在の活躍ぶりを紹介し、農業への熱い思いや将来への夢を語っていただくこのシリーズ。
今回は10年前の第10回・作文の部で銀賞に輝いた佐賀県農業大学校、畜産課程1年（受賞当時）・東島恵美さんです。作文のタイトルは「牛飼いで一番になってね」。現在、実家の和牛繁殖を引き継ぎ、両親、ご主人と一生懸命和牛繁殖に取り組んでおられます。

第10回ヤンマー学生懸賞論文・作文募集　作文の部・銀賞受賞者
東島恵美さん（30歳）

東島さんってこんな人

―受賞されてから10年が経ちました。表彰式のまだあどけない恵美さんとは見違えるほど逞しくなられましたね。

東島　そうですか（笑）。早いですね、あっという間です。私の家は佐賀県の最南端、長崎県との県境に位置する太良町で、「佐賀牛」の素牛となる黒毛和種の繁殖を仕事とする畜産農家です。小さい頃から後を継ごうと考え、佐賀県農業大学校で畜産を専攻し農業の基礎について学びました。卒業後すぐに家を継ぐつもりでしたが、両親から「就農してしまうと仕事に追われて世間が見れないから、外に出なさい」と言われ、2年間、妹と佐賀市内で共同生活をしながら、いつでも家に帰れるよう自由がききやすい派遣社員として会社や工場などで働きました。そのうち現在の夫と出会って結婚し、2年後に2人で家に戻ったのです。

―ご主人は農家出身ですか

東島　いいえ、非農家です。私の家は私と妹の女2人で男の子がいませんから、夫が婿に入ってくれました。私は就農し今年で6年になりますが、夫は最初、よそに勤めにいき、3年後、2人目の子供が生まれる時にうちの仕事に入ってもらいました。その後3人目も授かって子供は3人。6歳、3歳、2歳で、みんな女の子です（笑）。

―受賞した作文は「牛飼いで一番になってね」と小さい時に両親に言った言葉から始まり、苦労して畜産経営に取り組む両親への感謝の気持ちや、畜産農家が抱えている課題と対策、後継への意欲と将来への夢が素直に綴られています。そして最後は「楽しいことばかりではないことも知っています。それでも私は畜産をやりたい。私が家を継いだら少しは仕事も楽になるからね。それまで頑張ってください」と両親への呼びかけで締めくくられています。文中には牛への愛情も溢れていますね。

東島　作文にも書きましたが、高校3年の時、両親が相前後して入院した間、1人で牛の世話をし、悪戦苦闘しながら無事に10頭仔牛も生ませました。反対に難産で仔牛を死なせた時は辛く、もっと気を付けていればと後悔し、「もう牛を死なせるものか。どんなに朝早くても気になることがあれば起きて見回りをするぞ」と自分に言い聞かせました。元々牛が好きですが、そうした体験を通して牛への愛情が増してきましたね。

―審査委員の先生方も「こういう意欲と夢を持つ若者がたくさんいれば、21世紀の農業は安心です」と喜んでおられました。

現在の東島さん

産床に稲ワラを投入

雨の中、稲ワラのロールを運ぶ恵美さん

―取材のためにお宅を訪問すると、恵美さんは息せき切って牛舎から駆け降りてきた。「すみません、急にお産が始まりそうです、待っててください」と告げると、降りしきる雨の中、倉庫に走り、稲ワラのロールをフォークリフトに乗せて牛舎に戻った。そして産気づいた牛が横たわる分娩房の床に急いで新しいワラをたっぷり敷きつめる。恵美さんの真剣な表情に緊迫感がひしひしと伝わってくる。すぐさま母牛に寄り添い、「踏ん張って」「もう少しよ」と声をかけ様子を観察しながら、最後には出かかった仔牛の足先を両手で引っ張って分娩の介助を行い、無事に仔牛を誕生させた。そのとき恵美さんも一瞬安堵の表情を浮かべたが、緊張はまだ解かずその後も牛の親子をじっと見守る。しばらくして生まれたばかりの仔牛がようやく自分の足で立ち上がり、母牛のお腹をまさぐって乳を飲み始めたのを確認した時、恵美さんは初めて取材陣に満面の笑顔を返してくれた。

一心に分娩を介助

―お疲れ様でした。

東島　無事に生まれてほっとしました。経産牛なので安産でした。牛が好きだから、こうしてお産して仔牛が生まれれば嬉しいですね。でもお産は夜中もあるし、初めてお産する牛や難産の時は大変です。両親や主人も手伝ってくれますが、基本的に母には稲ワラや牧草の集草時期や農繁期に手伝ってもらい、普段は父と主人と私の3人で牛の管理を行っています。現在うちでは4棟の牛舎で親牛65頭、仔牛27頭を育てていますが、繁殖がメインの仕事なので年中、それも四六時中、牛のことが頭から離れませんね。家畜人工授精士の資格も私だけでなく主人にも3年前、就農する時に取ってもらいました。今は父と主人が授精しています。

無事に仔牛が誕生

―牛の管理で気をつけていることは？

東島　とにかくよく観察することですね。こまめに牛舎に行き、目を配り、発情の兆候を見逃したり病気に気付かないことのないよう心掛けています。特に忙しい牧草の収穫時期も、何が起きるかわからないので私1人は家にいるようにしているため、不慮の事故が減りました。それから、8～12カ月で仔牛をセリにかけて肥育素牛や繁殖素牛として販売しますが、うちの牧場の母牛にしてもいいような雌牛は売らずに残します。親牛の成績がよく「次からは種雄牛をつくってください」と言われるようになりたいですね。

―栄養管理も重要ですが、餌はどうしていますか？

東島　粗飼料は、自家製の堆肥をたっぷり投入した4haの牧草地で栽培している牧草（イタリアングラスやエンバクなど）と、鹿島近辺の稲作農家さんから穫らせてもらう稲ワラです。そのために機械もコンバイン1台、トラクター4台、反転機、ロールベーラにラッピングマシンなどいろいろ揃えています。これに濃厚飼料をプラスし、牛の状態に合わせてビタミン剤やカルシウム剤も与えます。ビタミンが不足すると発情が鈍り、低カルシウム症になるとお産したあと体温が下がって立てなくなるからです。仔牛に対しては、親から1週間程度で離す早期離乳に両親がいち早く取り組んできました。現在は7頭離乳しています。飼料を早く食べるようになり、胃が丈夫で腹のできた（成育の良い）牛になり、種付け後に妊娠しやすいようです。早期離乳に成功した仔牛には乾草（オーストリア産チモシー）を食べさせています。最近注目されている稲発酵粗飼料にも関心があり、提供してくれるところがあれば使ってみたいですね。

繁殖牛管理カレンダーで日程を確認

―経営面で考えていることは？

東島　繁殖農家の目的は健康な仔牛を連産し、順調に育てた素牛をセリ市で高く売ること。「1年1産」を目指していますが、それが難しい高齢の牛もおり、牛を更新しなければなりません。また、牛は分娩を重ねると仔牛がだんだん小型化することがあるので、大型で系統のいい牛が必要です。ちょうど今、素牛の価格相場が低迷し、1頭70～80万円していたものが40～50万円で買えるので、更新には好機。だから今、勝負に出ようかと思っています。経営的にはきついけれど、無理をしてでも今更新しておかないと、経営を長く続けられません。昨年12頭を購入し更新・増頭しましたが、今年も10頭入れたいですね。それから、ずっと課題であるコストダウンも追及していきます。

―将来の目標は？

東島　うちの牛はブランド牛「佐賀牛」の素牛となる牛です。肥育農家が求めているのは、健康で胃が丈夫、肉質がよく枝肉重量のとれる良い系統の仔牛です。両親がいい牛を出してきたので、「娘が継いだら前より悪くなったね」と言われないよう、佐賀牛の伝統を受け継いだ成績のいい牛を育てていきたいですね。規模も、目が届く限界である80頭まで増やしたいと思っています。年に5～6頭ずつ増えてきているので、実現できそうな気がしています。作文にも書いたように、やっぱり夢は大きく日本一。目標があれば、意欲も楽しみも生まれます。

母からの応援メッセージ

お母さんの東島美智子さん ››

昭和の中頃、ゼロからスタートして和牛の繁殖にほとんど1人で取り組み、30年かけて大きくしていった私からみれば、恵美はまだまだという感じはありますが、よく頑張っていると思いますよ。恵美が5歳の時、「お母さん、頑張って」と励ましてくれたことは、忘れられません。いいお婿さんに来てもらえ、2人で力を合わせて仕事に励んでいる姿を見ると、嬉しい限りです。繁殖牛経営に関して技術や研究が進んでいるので、もっともっと上を目指していってくれればいいですね。娘には大きな期待をかけています。

取材を終えて

同じ目標で頑張ってきた母と娘

思いがけず牛の出産に立ち会うという、めったに経験することのできない感動的な体験をさせていただいた。大雨の中、牛のために出産準備に走り回り、牛と気持ちを合わせて分娩を手助けする恵美さんの優しいまなざしが印象的だった。そんな恵美さんを支える旦那様は会議に出席されており、お会いできなかったのは残念だったが、きっと恵美さんと同じように優しくてあたたかいまなざしをもった方に違いないと思った。

昨年、第20回を迎えたヤンマー学生懸賞論文・作文はこちらでご覧いただけます。
http://www.yanmar.co.jp/aboutus/prize/sakuhin.html

この『先進農業事情』は、各地で意欲的に農業に取り組んでおられる人たちを紹介するページです。
稲作・畑作そして酪農・畜産の分野で、自分の意志で選んだ農業に誇りを持ち、
従来のやり方に独自の工夫を施して営農されている方々です。

Akita

秋田県潟上市飯田川和田妹川
ファームQ営農組合
経営規模：約80ha（米／50ha、大豆／30ha）

専業農家の鎌田久組合長

一等賞の賞状とトロフィー、楯

種苗交換会で大豆が農林水産大臣賞を受賞！ 集落営農で高性能機械を導入し 若者中心に楽しい農業を展開

大豆作で三冠に輝く 品質・収量共に満点

明治11年から毎年続いている秋田県の一大イベント「種苗交換会」（主催：JA秋田中央会）。歴史と伝統あるこの農業祭は、昨年132回目を迎え、地元秋田県を中心に全国から100万人を超す来場者が詰めかけた。注目の農産物審査会で、県内の農家や集団が丹精込めて作った2000点以上の農作物の中から豆類の部で一等賞に輝いたのは、大潟村に隣接する潟上市の集落営農組織「ファームQ営農組合」が出品した大豆「リュウホウ」だ。「粒の大きさ、色つや、収量とも に満点」と高い評価を受けた。それもただの一等賞ではなく、最高位の農林水産大臣賞、秋田県知事賞、JA中央会賞の3つを総なめにした。同組合の鎌田久組合長（63）は「まさかこんな立派な賞をいただけるとは思ってもいませんでした。昨年は夏の長雨と日照不足によって大豆の生育が思わしくなかったのですが、皆で団結して土づくりや雑草対策、水管理など日常管理に努めました。苦労した甲斐がありましたね。励みになります」と笑顔で話す。平成に入って基盤整備が進み1ha区画のほ場も多い同組合では、3年のブロックローテーションで作付する畑を回しているが、例年、大豆の収量は単収240kg以上確保しており（地域の平均は約200kg）、300kg取れたほ場もあるという。これだけの高収量を集落営農組織として挙げているところは、そう多くはない。

JAあきたビルで行われた表彰式に出席した鎌田組合長（左）とJAあきた湖東・館岡組合長（右）

種苗交換会に出品した大豆「リュウホウ」の検体。粒を揃え、磨きをかけて光沢を出す。

土づくりに注力 不耕起栽培にも挑戦

「平成18年に37軒でこの組合を立ち上げてからはまだ丸3年ですが、大豆については平成10年から営農集団で取り組んできました。それが母体になっているので皆の合意が取りやすく、湿害や雑草を抑えるための、新しい栽培技術にも挑戦しやすかったですね」と鎌田組合長は振り返る。特に土づくりを大事に考え、プラウを購入して天地返しを行ったり、牧草のヘアリーベッチを秋、米の収穫前にまいておき、春に緑肥としてすき込んでいる。また、稲作の後に耕起せずに種をまきロータリーで畝を立てながら土をかぶせていく「不耕起栽培」にも1.5ha取り組み、県の実証試験ほ場として協力し、成果を上げた。

天地返しに不可欠な3連プラウ

溝掘機

遠くに寒風山を望み、雪に覆われた現地ほ場。3月に雪がとければ下旬から溝切り作業が始まり、5月中旬には肥料まき、下旬には播種、と10月の収穫まで多忙な日々が続く。

平成14年、大豆生産組合時代に導入した大豆コンバインGS320。
1日3haを7時間位で作業し終わる。毎年30ha以上刈っており、利用率は130%。
アワーメーターも8年目で728時間にのぼる。

リーダーの存在が組合結成のカギ

昨今、国を挙げて集落営農組織づくりが推進されているが、秋田県での組織化率は全国でもトップクラスだ。とはいえ設立に至るまでには苦労が多い。同組合の取り組みは全国的にも普遍性を持ち、1つのモデルになるだろう。簡単に振り返っておこう。

同組合のある潟上市飯田川和田妹川地区は秋田でも有数の穀倉地帯にありながら兼業化が進んでおり、専業農家は数えるほどしかいない。そんな中で農業経営の中心ではない転作作物の大豆栽培に関しては、できるだけ効率的に作業を行おうと、生産組合を作って機械を共同利用し共同作業を行ってきた。が、米を含めて共同で作るという次のステップまでは「米だけは自分で作る」という根強い思いが残っているためか、なかなか難しく、その段階でとどまっていた。しかし、将来、労働力不足や後継者難、耕作放棄が増大することは目に見えている。折しも、自給率向上を図るために政府の補助事業が拡充されたことから、前組合長の佐々木俊則さん、現組合長の鎌田久さん、JA全農あきたで生産資材部部長を務める同組合の事務局長・菊地一春さん（54）らが、集落営農組織の設立に立ちあがった。「集落営農組織を作って一元経営し、国の施策で補助金が出れば、大型農業機械などが半額位で買える場合もあります。このメリットを追求しなければ、地域の農業は生き残れません。それに集落営農は田圃だけを守るのではなく、水路や自然環境など集落全体を守り育てることになります。とりあえずやってみようや」と集落の農家を説得して回り、立ち上げにこぎつけた。前組合長の佐々木さんや鎌田さん、菊地さんのような中核的な推進者がいたからこそ、集落営農組織が結成されたのだ。

組合の役員の皆さん。左から菊地さん、鎌田組合長、鈴木さん。

ヤンマーと全農が共同開発したJAグループ独自型式コンバインAG467Zを平成21年度担い手経営展開支援リース事業で導入

「米も取り込んだ集落営農の必要性を信念を持って説けば、みんな理解してくれるようになります。米に対する特別な意識がまだ残る人もおられて米に関しては全員でというところまでは至っていませんが、次第に米も参加する人が増えてくるでしょう。幸い、うちの集落には30代から70代まで若い人から年配までどの年代にもまんべんなくメンバーがいて、結束力は強いですよ。オペレーターも若者を中心に7～8人が休日にローテーションを組んで共同作業をしています。お互いに声をかけ合ったり、高品質な作物を一緒に作っているという仲間意識も育ってきています。やり方によっては楽しい農業ができるんです。1人でやるより大人数で大きな機械を使ってワイワイやる方が楽しいし、秋の収穫作業が終われば皆で酒を酌み交わしながらコミュニケーションを図っています。頼もしいですよ」と菊地さんは目を細める。

組合経営の旗振り役、JA全農あきたの生産資材部長でもある菊地一春・事務局長。

「若者がまとまれば地域の活力が出るし、退職者も農業にやる気がわきます。この経営形態を伸ばしていけば雇用の場も増え、就職先がない人を受け入れられます」と鎌田組合長。

若い世代の1人であり、会計を統括する市役所勤務の鈴木和徳さん（41）は「以前は機械装備に過剰なコストがかかっていました。それが今は高性能機械の一元化と共同利用によって、経済面だけでなく時間的にも余裕ができ、繁忙期に人手を確保する苦労もなくなりました。機械や設備の処理能力が高いので、余った能力を野菜や加工をはじめ第6次産業など他の分野にシフトしていくということも、将来的に考えていきたいですね。法人化も視野に入れています」と夢を語る。

若い世代を引っ張る会計統括の鈴木和徳さん。市役所勤務で情報キャッチも早い。

5年後、10年後を見据えて集落の農家が話し合い、経営改善を行いながら、統一した作業形態や肥培管理のもと全員参加で高品質のブランド米「あきたこまち」を生産していこうとしている同組合。今後の発展が楽しみだ。

自分達の手で建てた格納庫

先進農業 ワンポイント

- ☑ 将来を見据えて営農集団を結成し、新しい栽培技術に挑戦。高性能機械の一元化と共同利用による経営力の向上で、第6次産業分野への発展と法人化も視野に。
- ☑ 田圃を守るためだけではなく、自然環境を守りながら集落全体を活性化していく方式で地域の活力や雇用の場を創出。全員参加で高品質米の生産を目指す。

大分県宇佐市
池田喜太郎さん（株式会社グリーンフィールド代表）
規模：飼料イネ／70ha、主食用米／12ha、牧草（二毛作）／70ha、その他、作業受託など

大分の稲作農家が地域の畜産を変える！ 稲WCSを基軸に耕畜連携し 夢のある経営をめざす

池田喜太郎代表

約20ミリに細かく細断され、サイレージの香りがするWCS

細断型コンビラップMW1020

細断型コンビラップの前で（株）グリーンフィールドの皆さん。左から遠藤幸弘さん（27歳）、池田裕介専務、池田喜太郎代表、啓子夫人、そして池田裕之さん（21歳）と池田将之さん（19歳）は孫、専務にとっては甥にあたる

稲発酵粗飼料は自給率向上の切り札

政府は、稲発酵粗飼料（ホールクロップサイレージ＝WCS）を飼料自給率向上の切り札と位置付け、「水田利活用自給力向上事業」など手厚い助成制度を設けて増産に力を入れている。そうした農政の後押しを受け、飼料イネを生産する農家が急増している。大分県随一の穀倉地帯・宇佐平野で米・麦を大規模に栽培している（株）グリーンフィールド（池田喜太郎代表）も、一昨年から飼料イネ栽培とWCS生産に本格的に取り組み始めた。

「きっかけは『大分県では県北地域を飼料供給基地にして南の畜産農家にWCSを供給するという構想を打ち出しています。耕畜連携に取り組んでみませんか、県も指導しますから』と県振興局生産流通部の本田文博さんから勧められたことです。この地区の土質は砂地のうえ昼夜の温度差もあまりないから主食用のイネは収益的に余り期待できません。それより飼料イネを栽培した方が水田の活用や食料自給率向上、畜産農家のためになり、経営面でも交付金なども多く採算が見込めると判断しました。問題は生産したWCSの売り先の確保ですが、振興局が竹田市の（株）キヨタファームさんや南さつま市の農業生産法人（有）錦江ファームさんとの間をとりもってくれました。稲作農家として生き残っていくためには、その時代の農政に沿って作付けする作物を転換することも必要です。やるからには大きくしたいですね」と池田さんは力を込める。

初年度は、多収で倒れにくいWCS用イネの専用品種ニシアオバを休耕田40haで栽培。助成事業を活用してケンパー社のフォーレージハーベスタC2200と細断型コンビラップMW1020を導入し、WCSを作って前述の錦江ファームなどに納入した。翌平成21年には主食用米の栽培を大幅に減らして飼料イネに切り替えるだけでなく、コントラクターとして受託している計20haでも飼料イネを栽培。一気に面積拡大を図るとともに、イネ収穫後に牧草を作付ける二毛作体系を実施。増産したWCSの売り先も計3カ所に増やし、堆肥の提供を受けて飼料イネのほ場に還元している。平成22年度は主食用米は12haを残すのみにして70haで飼料イネを栽培する計画だ。

ケンパー社ハーベスタの威力に感嘆

高品質のWCSをいかに省力低コストで生産するか。そのカギを握るのは収穫機だが、池田さんは国が提案する3つの機械の中からケンパー社製フォーレージハーベスタを選んだ。

ケンパー社フォーレージハーベスタC2200で作業

池田さん父子

「それぞれに特徴があり迷いましたが、VTRで実演を見比べたのが決め手になりました。ケンパー社製フォーレージハーベスタは他の2つよりパワーが違いました。これなら能率が上がり大面積での利用に最適。細断も20ミリと細かいので発酵しやすく、牛の食いつきがいい栄養価の高いサイレージが作れます。牧草やトウモロコシに使えるのもいいですね」

後継者の池田裕介専務（33歳）も「さすがハイテクの機械ですね。作業能率が非常に高く、頑丈で無理もききます」とぞっこん。その裕介さんは、ガッツがありチャレンジ精神も旺盛。20代の若い社員3人のよき兄貴分で、叱咤激励しながら引っ張っている。

「将来は規模拡大だけでなく、新技術や活用法を勉強し情報を集めて、栄養価がより高いWCSを提供していきたいですね。今、県の農林水産研究センターからの依頼で地元産の麦焼酎の搾り粕を加えたWCSを作り、肥育牛へ給与する試験に協力しています。牛の増体が良好だそうですよ」

WCSで夢のある経営を目指す同社の取り組みに今後も目が離せない。

キヨタファームが買い入れたWCS

畜産農家もWCSの効果に大きな期待

同社からWCSを購入している（株）キヨタファームに、WCS導入の目的と効果を聞いてみた。久住高原で約1400頭の肥育牛を飼育し、九州圏内で枝肉を販売している牧場だ。

（株）キヨタファーム清田勇人代表

「『安心・安全な牛肉をリーズナブルな価格で』をモットーに、地下500mからくみ上げた美味しい水を飲ませ、抗生物質や添加剤を一切使わず自家製レシピで配合した餌を与えています。粗飼料の稲ワラについてはこれまで、国産だと安定供給が難しいので輸入もので致し方ないかなと思っていましたが、県からWCSを勧められ池田さんを紹介してもらったので、平成21年12月からトラックで3時間かけて運んでもらっています。年間1200ロールの契約の内、まだ4カ月しかWCSを食べさせていないので効果が出るまでには至っていませんが、牛の食い込みは上々ですよ。与え続けることによって今年の秋口から肉質が変わってくるのではないかと期待しています」と清田勇人代表は笑顔で話す。

WCSを手に取り、「いい出来」だと清田勇人代表

嗜好性については「最初は牛たちにとってこれまでに嗅いだことのない香りだったので警戒気味でしたが、2日以内には皆食べ始めました。鼻づらで表面をあさりながら米の粒から茎葉まで全体を食べていますよ。20ミリという細断のサイズも食べやすそうです。私たちにとっても取り扱いが楽で給与しやすいし、手をかける必要はありません」

牛の食い付きも上々

栄養面や肉質への影響については「繊維質だけでなく米粒が入っているのがいいですね。しかもケンパーの収穫機で米粒に傷がつけられ、豊富なビタミンAが発酵することによってビタミンEにかわり、肉質がよくなります。肉の味もデンプンの糖度が肉全体に回り、甘みがあっておいしいはず。枝肉で販売する際も日持ちがするし、トレイパックで店頭に並べた時、時間の経過によって肉色があせるのが遅いというのも大きな付加価値です。それに『県内産の稲で作られた餌を使って育てているので安心・安全です』と消費者にアピールできるのが何よりいいですね。品質が目に見えない商品を不特定多数の人が買う場合、生産履歴が選択の決め手になりますから。いい肉ができると生産意欲が高まります」

今後20～28カ月で出荷するまで給与試験を行い詳細なデータをとるそうだが、まずは今年の年末に最初の結果が出るのが楽しみだ。

先進農業 ワンポイント

- ✓ 畜産農家のために飼料イネの栽培による水田の活用、食料自給率の向上を目指し、稲WCSを基軸に耕畜連携。若い社員のチャレンジ精神で、新技術や活用法の情報収集で夢ある経営に取り組む。
- ✓「県内産の稲でつくられた餌を使って育てている」という消費者へのアピールができるWCSに畜産農家も大きな期待。地元産の焼酎の搾り粕も加えたWCSはエコフィードの一環としても目が離せない。

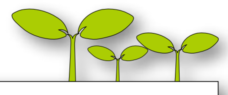
耕作放棄地の再生利用のために。

耕作放棄地を活用して地域を元気に！

農業生産の基盤である農地は、現在及び将来における国民のための限られた資源ですが、
我が国の農地面積は、転用や耕作放棄により減少の一途をたどっています。
また、耕作放棄地は、病虫害・鳥獣被害の発生・拡大や農地利用集積の阻害等の
営農面での悪影響のみならず、廃棄物の不法投棄、景観の悪化等、
地域住民の生活環境面でも大きな課題となっています。
このため、耕作放棄地を再生し利用する取組が各地で進められています。
また、農林水産省では、このような取組を支援する「耕作放棄地再生利用緊急対策」を創設しました。

耕作放棄地の復元・利用を応援します！

耕作放棄地再生のステップ



1. 現地を調査する

再生利用の対象とする耕作放棄地の植生や形状、用排水路や進入路等の状況を確認しておく必要があります。

1 植生状況

● **生育している主な植物種や高さ・太さを確認**
雑草や灌木の種類や大きさによって、刈払等の作業機械や労力が異なります。

● **葉・茎・根の量を確認**
植生の量によって、利用・処理の方法をあらかじめ決める必要があります。

POINT 多年生植生の根茎は肥大して除去に苦労することがあるので、地上部だけでなく、地中の根茎も調べてください。

2 農地・法面の形状・傾斜等の状況

作業方法や使用する機械の種類と規模の選定の参考にします。

POINT 災害やイノシシの掘り返しなどにより法面が崩壊している場合もある為、農地だけでなく一体的に作業する法面状況も確認しておきます。

3 農地の乾湿の状況

● **客土や暗渠排水が必要かどうかを確認**
再生後に導入しようとする作物に適した表土とするために必要です。

POINT 農地が湿地状であると作業が限定されるので注意してください。

4 岩石等不要物の状況

- 周辺の地山から崩落した土砂・岩石
- 表土が流出し露出した岩石
- 崩れた石垣の石、投入された廃棄物

POINT 営農再開の支障となるのはもちろんのこと、再生作業時の機械作業においても機械の破損につながるため、注意が必要です。

5 接続道路、進入路の状況

● **接続道路、進入路幅員、勾配、舗装等の状況確認**
再生後の営農及び再生作業における機械利用を検討する際に使用します。接続道路や進入路の補修・舗装・拡幅などの整備が必要な場合は、必要に応じて測量等を行ってください。

6 用排水路の状況

- 適切なかんがいと排水を行うことが可能か。
- 当該地周辺、水源までの用水系統の繋がりは確実か。
- 河川等まで排水が流下できるか。

POINT 長期間放置された水路は、堆砂やアシ等抽水植物の繁茂や、崩れた法面の土砂の堆積、破損などが懸念されるため注意してください。

2. 再生作業を計画する

現況調査の結果をもとに、再生作業(雑草・灌木の除去、根・地下茎の除去、耕起・整地等)を計画。検討項目は、①時期、②手順、③機械調達、④参加者募集、⑤不要物処分、⑥事前準備など。

1 時期を決める

対象農地が湿地状の場合は、作業効率を考慮して、比較的地下水位が低い、秋から冬(降雪の少ない地域)が作業しやすい時期です。

※耕作放棄地再生後、土壌改良を行わず、すぐに作物の作付けが可能な場合は、導入作物の播種・定植時期を考慮。

POINT 作業に地域の農家の参加を得るには、農閑期や地域活動の少ない時期を考慮してください。

2 手順を検討する

- 現地調査の結果(植生、農地・法面の形状、傾斜、乾湿、接続道路・進入路などの状況)を踏まえ、土木的な作業の内容・手順を定めます。
- 必要に応じ、情報収集や機械メーカー等への相談などを行いながら、作業ごとに必要な機械を決め、作業参加者の人数を想定します。

POINT 作業手順は、当日、参加者に配布・説明できるようにペーパーでまとめておくことが効率的です。

3 機械の調達にあたる

- 作業手順をもとにして、必要な機械のリストを作成し、このリストにそって必要な機械の調達を進めます。

4 参加者を募る

作業手順をもとに参加者を確保します。

（協議会の会員、地域の農家等はもとより、耕作放棄地対策に関心のあるNPO、企業、大学等の参加を募ることも考えられます。）

再生された農地で都市住民との交流等の活動を行う場合は、イベント的に参加募集を行います。

5 不要物の利用・処分方法を決める

- 鋤き込みできない枝葉、木、根、岩石などの不要物の処分方法を決めておきます。
- 木はチップ化して堆肥化したり、枝葉を積み上げて腐葉土化するなど、できるだけ資源化し当該農地で利用することを検討します。
- ほ場から持ち出して処分せざるを得ない場合は、法令等に基づき適切に処分します。

6 事前準備

- 作業日までに必要な事前準備を行います。
- アクセス道路に支障がある場合は補修し、参加者や機械の運搬車の駐車スペースを確保しておきます。
- 農地が湿潤な場合は、溝切りなどで水を切っておきます。

作業開始!

1 雑草、潅木の除去

- フレールモア
- 刈払機
- チェーンソー

▲フレールモア

チェーンソー▲

▲刈払機

2 根・地下茎の除去

- バックホー

3 耕起・砕土・整地

- ロータリー
- プラウ
- パワーハロー
- サブソイラ

▼ロータリー

▲サブソイラ

パワーハロー▲

◀プラウ

4 排水路、明渠・暗渠の整備

- 畦塗機
- 溝掘機

畦塗機▲

▲溝掘機

5 廃材等の処理

- チッパー

新商品登場！

ヤンマー トラクター New

湿田や重けん引作業も なんなくこなす強力クローラ、乗用車感覚の丸ハンドルで 広いほ場も作業は快適。

優れた湿田走破性と圧倒的なけん引力を発揮する、低接地圧クローラ。

乗用車感覚の簡単操作で自由自在な旋回を実現する、丸ハンドル+FDS。

さらに、磨き抜かれた機能の数々が、多彩な作業の精度と能率をアップしてくれる。プロのニーズに最大限に応えるべく、操作性と快適性を徹底して突き詰めた、ヤンマー新CTシリーズ。湿田作業に、大区画ほ場に、そして重けん引作業に、この一台が大きな実りと歓びをもたらします。

「接地圧が低い」から 優れた湿田走破性を発揮。

同馬力ホイルトラクターに比べ、約1/10の接地圧

クローラトラクターは2つの面で接地するため、4つの点で接地する同クラスホイルトラクターに比べ、接地圧が約1/10。深い湿田でも沈むことなくスムーズな作業を実現します。畑作でもほ場を踏み固めないため、作物の根張りを阻害せず、生育が均一になります。また、クローラは接地面積が広いので、凸凹な耕盤も数年で平らに安定し、田植作業や稲刈りなどの後作業もたいへんラクになります。

「けん引力が強い」から 重作業もラクラク。

同馬力ホイルトラクターに比べ、約1.5倍のけん引力

けん引力は同クラスホイルトラクターの約1.5倍なので、多連プラウ・トレンチャなどの重作業も容易。さらに排水性の悪いほ場でも、サブソイラ作業で力を発揮。水田作業や畑作で重要な土作りでも、能率が上がります。また、雪上での融雪剤散布・心土破砕ができるため、雪を溶かして春作業を早めることもできます。

■主要諸元

	名称(商品型式名)	CT552	CT652
機体寸法・質量	全長(mm)	3810	3790
	全幅(mm)	1730	1800
	全高(mm)	2605	
	最低地上高(mm)	370	
	機体質量(重量)(kg)	3290	3300
エンジン	種類	水冷4サイクル4気筒直噴エコディーゼル	
	総排気量(ℓ{cc})	3.318{3318}	
	出力/回転速度(kW{PS}/rpm)	40.5{55}/2500	47.8{65}/2500
走行部	変速方式	HST(FDS)	
	変速段数(段)	無段変速×副変速4段	
PTO	クラッチ形式	湿式多板油圧式	
	回転速度(rpm)	正転:553･742･1052　逆転:608	
	軸径(mm)	JIS35	

EcoTra CT Series

CT552 55馬力　**CT652** 65馬力

クリーンで高出力の 電子制御直噴エコディーゼルエンジン。

国内2次規制対応

新型TNVエンジンを搭載し、
特殊自動車の第2次排ガス規制をクリアしました。

直噴式はエンジン燃焼室内に直接燃料を噴射して爆発させるため、渦流室式にくらべ燃焼ロスが少なく、大きな出力が得られます。しかも低温始動性にすぐれ、トラクターとのベストマッチングを実現しています。

TNV Diesel Engine

CT552 55PS 2500rpm ・ **CT652** 65PS 2500rpm

高速から中低速まで、全域でパワフル。排ガス規制にも対応した新時代の力。

EGR 採用

TNV直噴エコディーゼルエンジン

燃料噴射ポンプをはじめ、燃料噴射・燃焼技術などの基本テクノロジーを徹底的に磨きあげた、高出力・低燃費・良好な低温始動性が特長の直噴ディーゼルエンジンです。さらに、地球環境へのやさしさにも配慮して、排ガス規制に対応しました。

排気ガス再循環
(Exhaust Gas Recirculation)
一度排出されたガスを再び吸入空気と混合し、燃焼温度を下げることで、排出ガス中の窒素酸化物(NO_x)を低減させます。

乗用車感覚だから、ラクラク、能率アップ。

丸ハンドルFDS

緩旋回からスピンターンまで旋回は思いのまま。
しかも常に両クローラが駆動しているため
ほ場を荒らしません。

なめらか旋回から
スピンターンまで
自由自在。

丸ハンドルFDSの3つの効果。

❶凹凸ほ場でも直進は まっすぐに。
❷旋回は簡単スムーズに。
❸湿田作業でも力強く。

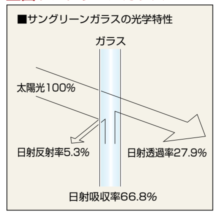
静かでワイド、ゆとりの居住スペースだから、長時間作業でもゆったり快適。

クローラ先端まで、安全確認が容易。

360°パノラマ視界

ワイドな前面ガラスと垂直支柱に加え、側面には乗降しやすい大型ドアを採用。
さらに、大きなリヤウインドと曲面リヤサイドウインドにより、360°良好な視界を確保しました。クローラの先端もよく見えるので、安心・スムーズに作業が行えます。

紫外線を大幅にカット。
全面サングリーンガラス



静音設計の大型キャビン

ワンボックス構造、フローティング構造、多層防音構造など、基礎開発の段階より、低振動・低騒音を追求した快適キャビンです。しかも、のびのび作業ができるワイドな室内空間を実現しています。

ご使用前に点検・診断を。

田植機（点検・診断）

Maintenance

ヤンマーの農業機械は、あなたの仕事のパートナー。いつまでもよき相棒として、安全にご利用いただくために、日頃の保守点検は欠かせません。このページを参考に、田植作業の前に愛機をチェックしましょう。

＜ご注意＞
●各メンテナンスのしかたは型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。●その他、点検により不良箇所、または不安な箇所を見つけられた場合は、お気軽に最寄りの販売店・JA にご連絡ください。

一般的な田植機はガソリンエンジンを搭載しています。（一部の田植機はディーゼルエンジン搭載）エンジンによる違いが発生するのは◎プラグの有無◎キャブレターの有無◎燃料の違い◎格納時の燃料の扱いです。

【田植え当日に慌てないために】

田植えの 1 週間前には、チェックしてみてください。

あなたもチェック!

■エンジンオイルの量や汚れ
■燃料タンクのガソリン※昨年のガソリンが残っている場合は交換してください。
■エンジンが始動するか
■バッテリーの液量は適正か
■植付けクラッチや走行クラッチが作動するか

01 エンジンオイル

エンジン内部の潤滑・冷却・洗浄・防錆・密封する働きをしています。

こんなときは交換、給油

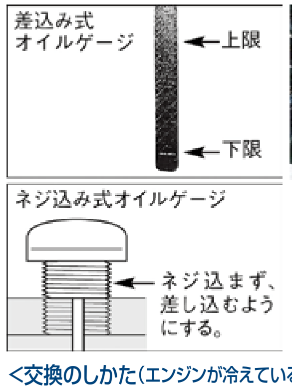
●汚れている。粘りがない。（ガソリンエンジンの場合:ガソリン臭がする。）
●長時間または長期間使用している。　●オイル量が少ない。

そうしないと→＜予想されるトラブル＞

●エンジンの力が出なくなります。　●エンジンが過熱します。（オーバーヒート）
●マフラーから常に白煙を吐きます。（ガソリンエンジンの場合:青白煙）

＜点検のしかた（エンジンが冷えている状態で行います）＞

1）オイルゲージを抜き出してください。
2）きれいなウエスでオイルゲージの先端に付いたオイルを拭き取ってください。
3）同時にエンジンオイルの汚れ具合を確認してください。
4）再度、オイルゲージを差し込んでください。オイルがゲージの上限と下限の間に付着していれば適正です。（ネジ込み式はネジ込まないようにする）



●オイルゲージの種類は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

＜交換のしかた（エンジンが冷えている状態で行います）＞

1）ドレンプラグを外して、オイルを抜き取ります。この時、給油口のフタを外しておくとオイルが早く抜けます。
2）完全に抜けきった状態で、ドレンプラグを取り付けます。
3）給油口から純正エンジンオイルを規定量入れます。
4）点検の要領でオイル量が規定量（上限まで）あるか確認します。
5）少なければ給油、多ければ抜き取ります。

●ドレンプラグ、給油口は型式により場所が異なります。取扱説明書を参照してください。

02 キャブレター

ガソリンエンジン搭載車

燃料を気化し、エンジンに送り込みます。

こんな時は清掃または交換

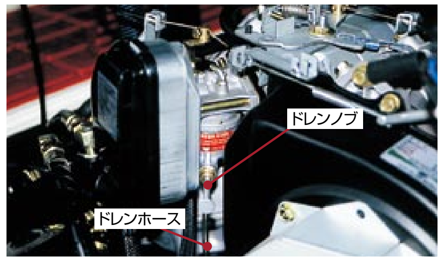
●燃料を入れた状態で保管している。
●ガソリンが変色・変質している。

＜格納時の注意＞

燃料コックレバーは「停止」側にしてください。また、燃料タンクおよび気化器（キャブレター）より、ガソリンを完全に抜き取ってください。

＜注意ポイント!＞
●ガソリンは長期間放置しておくと変質し、次期使用時にエンジントラブルの原因になります。田植機を長期間使用しない場合は、必ずガソリンを完全に抜き取ってください。

●キャブレター内の燃料の抜き方
1）キャブレターの下部にあるドレンホースの下に燃料を受ける容器を置いてください。
2）ドレンノブを引くと、ドレンホースから燃料が流れ出てきます。ドレンノブから手を離すと、ドレンホースから流れ出ていた燃料が止まります。



※修理が必要な場合はお店にご相談ください。

03 プラグ

ガソリンエンジン搭載車

吸い込まれた燃料に引火させます。

こんな時は点検

●エンジンのかかりが悪い。
●セルモータは回るがエンジンがかからない。

※プラグの状態は、取扱説明書を参照してください。

＜点検のしかた＞

1）プラグキャップを取り外します。
2）サイズに合ったプラグレンチでプラグを取り外します。
3）プラグの電極部の状態を確認します。
●カーボンが付着している
➡清掃が必要
●電極が摩耗している➡交換が必要

＜清掃または交換のしかた＞

1）プラグキャップを取り外します。
2）プラグレンチでプラグを取り外します。
3）ワイヤブラシで、電極部の煤を取り除きます。
4）取付けは付属のプラグレンチで締め付けます。強く締めすぎるとシリンダヘッドのネジ山を破損する恐れがあります。
5）電極カプラを根元までしっかり差し込みます。

※清掃・交換のしかたは、取扱説明書を参照してください。

04 植付アーム

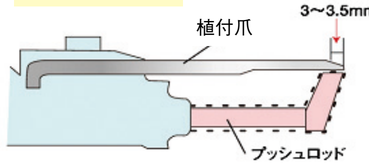
ガソリンエンジン搭載車　ディーゼルエンジン搭載車

苗マットから苗を取り、植付けます。

こんな時は交換または調整

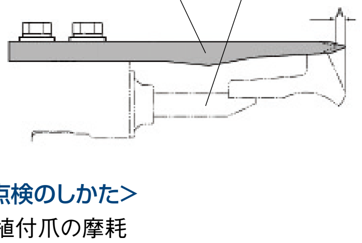
●植付爪が変形・摩耗している。
●植付爪とプッシュロッドのスキマが大きい。
●植付爪とプッシュロッドのスキマが小さい。
●プッシュロッドにガタが多い。

RR シリーズ

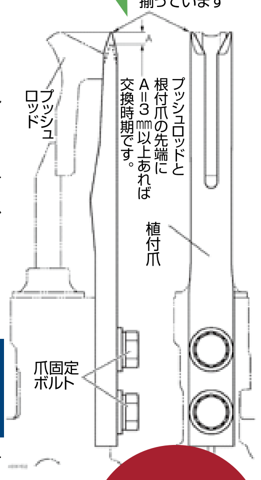


爪先の3〜3.5mmぐらいが減ったら交換時期です。
※〈注意〉プッシュロッドの形状により測定方法が違います。

VPシリーズ



植付爪が（破線）位置まで摩耗していれば、交換時期です。



＜点検のしかた＞

●植付爪の摩耗
植付爪が -------（破線）位置まで摩耗していれば、交換時期です。

●植付爪とプッシュロッドのスキマ
ロータケースを手動で回転させ、プッシュロッドが植付爪の先端に揃った時に植付爪とプッシュロッドのスキマが0.1〜0.6mmであることを確認してください。

●縦取り量のセット
1）植付本数調節レバーを「中」位置にしてください。
2）爪セットゲージを苗取出口にセットしてください。

＜注意ポイント!＞
●苗のせ台が最右・左では爪セットゲージが入りません。中央寄りに移動させてください。

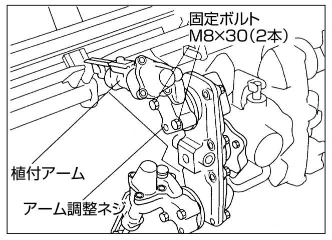
3）ロータケースを手動で回転させ、植付爪の先端がゲージの「中」位置に合っているかを確認してください。

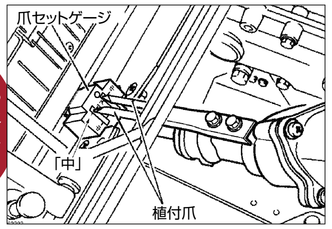
※詳細は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

＜調整・交換のしかた＞

●植付爪
1）爪ホルダーの取付ボルトを取り外してください。
2）植付爪と爪取付座の間に、シム（0.2mm）を入れてください。
3）爪ホルダーを元通りに取り付けて、植付爪とプッシュロッドのスキマを再度確認してください。
4）縦取量のセット点検・調整をしてください。

●縦取り量のセット
1）植付アーム固定ボルトM8×30（2本）を緩めてください。
2）植付アームのガタを上方に寄せながら爪セットゲージの「中」位置に植付爪先端が合うように、アーム調節ネジをドライバーで調節してください。
3）植付アーム固定ボルトM8×30（2本）を締め付けてください。





※詳細は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

05 各部グリスアップ（注油）

ガソリンエンジン搭載車　ディーゼルエンジン搭載車

※ 50 時間または 1 年のどちらか早い時期に実施

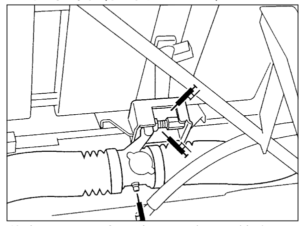
こんな箇所に

●各操作レバー支点（注油）
●パワステアリング・ベルクランク支点部（グリスアップ）
●トップリンク・ロアリンク支点部（注油）　●植付部（グリスアップ）
※グリスアップ箇所は型式によって異なります。取扱説明書を参照してください。

●各操作レバー支点

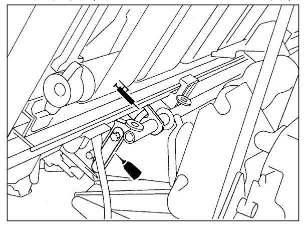
●ベルクランク支点部

●植付部（苗台アーム）



苗台アームの内壁全面にグリスを塗布してください。

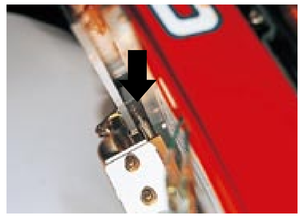
●植付部（ガイドレールステーピン部）



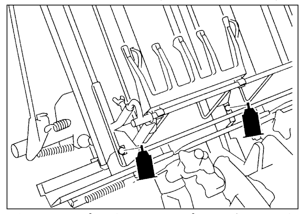
●植付部（植付爪ケース）

グリスを多く入れ過ぎると、プッシュロッドの働きが悪くなり、植付不良が発生します。

●植付部（支持シュー）



●苗受板シュー（ゴムキャップ）



ゴムキャップの穴から、スプレーグリスで注油してください。

苗のせ台支持シュー
※支持シューが摩耗している場合は交換してください。

爪の交換時期ご存知ですか!

昨年、「浮苗」や「欠株」はありませんでしたか?

田植機をお使いの前に、是非チェックいただきたいのが" 植付け爪の状態"。

植付け爪が磨耗していたり、変形していたりすると、キチンと苗をつかむことができませんので、浮苗や欠株が発生しやすくなります。

植え直しや補植は大変な作業です。
そこで、田植え前に
爪の減り具合や変形がないかを
チェックしておきましょう。

BOOK REVIEW

旬の農業書 VOL.16

充実した営農へのヒントがいっぱい。
いま旬の農業書をお届けします。

「現代農業」バックナンバープレゼント! Present

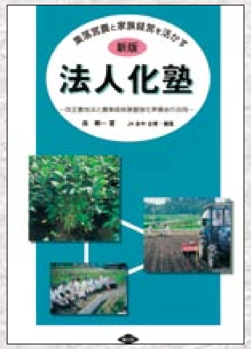
「現代農業」バックナンバーを進呈します。
ご希望のかたは、ご住所・お名前・電話番号・年齢をご記入の上、FAXにてお送りください。
年何冊くらい雑誌図書を購入されているか、ご回答願えれば幸いです。
また、この「旬の農業書」コーナーのご感想やご意見もお願いします。
なお、プレゼントは先着20名様とさせていただきます。有効期限2010年6月末とさせていただきます。
*個人情報は、プレゼントの送付や新刊案内などのためにのみ使用します。ご了承ください。
号数は、指定できません。ご了承ください。

人気の秘密に迫る ザ・農産物直売所

全国１万 4000 ヵ所の底力

農文協 編
定価：900 円（本体 857 円、税 43 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

いま元気な全国各地の農産物直売所。
ひろがる直売所の人気の秘密を探る。
巻頭の「みずほの村市場」と「グリーンファーム」のトップ対談は読み応えあり。

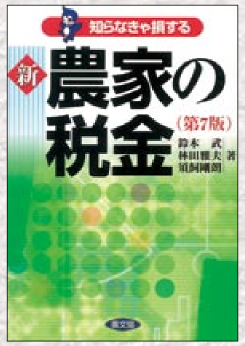


新版 法人化塾

改正農地法と
農業経営基盤強化準備金の活用

森剛一 著　JA 全中　企画編集
定価：1,890 円（本体 1,800 円、税 90 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

集落営農の法人化運営ノウハウ満載の教科書。法人化のメリットは、戸別農家補償制度が実施されても消えないこと、またいかに改正農地法を有効活用するかを付け加えた。

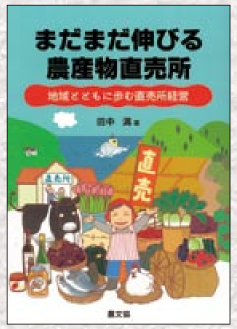


新 農家の税金

第７版

鈴木武　林田雅夫　須飼剛朗 著
定価：1,470 円（本体 1,400 円、税 70 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

20 万部のロングセラーの 09 年改訂版。平成 21 年以降の確定申告に適用される税制改正に対応。
消費税、国民健康保険、介護保険の仕組みや解説も充実。



まだまだ伸びる農産物直売所

地域とともに歩む直売所経営

田中満 著
定価：1,680 円（本体 1,600 円、税 80 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

「農産物直売所　運営のてびき」、「農産物直売所　発展のてびき」に続く第３弾。自らが都市農山漁村交流活性化機構と一緒になって調査した資料を元に、伸び続ける直売所の経営を分析・整理し、もう一度「地域とともにあれ」と基本を訴える。

最新農業技術 作物vol.2

特集「省力イネづくり最前線ー疎植、直播、抑草」

農文協 編
定価：6,000 円（本体 5,714 円、税 286 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

近年、イネの苗に関わる作業の省力、高温障害回避による米の品質向上などをねらい、メーカーによる対応機の開発・普及もあって、疎植栽培が拡大中。有機栽培の広がりから、除草剤に頼らない水田での省力的な抑草技術などを中心に収録。

生きている土壌

腐食と熟土の生成と働き

エアハルト・ヘニッヒ 著　中村英司 訳
定価：1,995 円（本体 1,900 円、税 95 円）
出版：農山漁村文化協会（農文協）

土壌の耕作最適状態である「熟土」はどのように用意されるのか?その鍵を握る腐植や腐植粘土複合体の生成を、新鮮有機物や堆肥、微生物や植物の根、ミミズの働きと結びつけ、生きている土壌個体の活動として描く。

お問合せ・ご注文は農文協「田舎の本屋さん」まで
右記のいずれかの方法でご注文ください。

●郵　便：〒107-8668 東京都港区
赤坂郵便局私書箱第15号
農文協「田舎の本屋さん」宛
●電　話：03－3585－1141（9時～17時）
●インターネット：「田舎の本屋さん」http://shop.ruralnet.or.jp/

荷造送料：何冊でも1回400円。
お支払い：同封します郵便振替用紙でのお支払い。
お届け：1週間程度でお届けします。
地域によって、もう少しお時間をいただく場合もございます。

ご注文専用フリーダイヤルを設置しました！
注文専用フリーダイヤル：0120-582-346（ごはんに みそしる）[平日 9：00～18：00]
注文専用フリー FAX：0120-133-730 [24 時間受付]
※表示価格は税込みです。

Rice Pizza

Healthy Cooking

身近な素材で手軽にクッキング！
フライパンでできる
簡単手作りピザ－米粉の巻－

生地がおいしい本格派
お米ピザ

イタリア生まれのピッツァを米粉でアレンジ！　小麦粉より水分を含む量が多いので、焼き上がりのピザは、外はカリッと、中はしっとり、もちもち、やわらか。オーブンを使わずにできる大人も子どもも大好きなお米ピザ！

生地をまぜる前に、ドライイーストを水に入れて膨張させておこう。生地のもとを均一にまぜ込んだ中に膨張したドライイーストと水を加える。米粉の感触を楽しみながら、生地がなめらかになるまでよくこねていくのがポイント。（ピザは気楽に作るのが楽しい！）　生地がなめらかになれば３㎜ほどの厚さになるまでめん棒で丸くのばす。のばした生地にオリーブ油をぬり、その上にチーズなどをトッピング。あとはフライパンに入れて弱火でゆっくり焼き上げるだけ！

出来上がったあつあつのピザに大満足！　たくさんつくってしまっても大丈夫。米粉のピザは冷めてもおいしくいただける。

これからの季節、お花見やハイキングのお弁当にも楽しめる一品としてもいかが。

●調理時間:1時間
●エネルギー（1人前1/4切れ）:約400kcal

《材　料／分量4人分》
<生地>米粉ミックス粉250g、塩小さじ1/2、砂糖‥小さじ1/2、オリーブ油・小さじ1、ドライイースト7g、水（30℃）180ml
<トッピング> トマト適宜、とろけるチーズ80g、バジル適宜、サラミ適宜、ピザソース適宜、タバスコ（お好みで）適宜

《作り方》
❶生地をつくる…小さめの器に水、大さじ1を入れ、ドライイーストをふり入れて膨張させておきます。ボウルに米粉ミックス粉、塩、砂糖、オリーブ油を入れて均一にまぜ込んだ中に加減をみながらドライイーストと水を加えます。
❷生地をのばす…生地をなめらかになるまでよくこねます。その生地を2等分しクッキングシートの上で、3mmほどの厚さまでめん棒で丸くのばします。（生地発酵は必要ありません）
❸トッピング…のばした生地にオリーブ油（分量外）をぬり、その上にピザソースをぬって、トマト、チーズ、バジルを散らします。
❹焼く…フライパンに入れ、フタをして弱火でゆっくり焼いたら出来上がりです。火力により、クッキングシートを敷いて焼き加減を調整します。

《ピザソースの作り方》
にんにく1かけをみじん切りにして、小鍋にオリーブ油大さじ1を入れて炒めます。
そこにトマトピューレ100g、ロリエ1/2枚、砂糖小さじ1/3を入れてさっと煮れば出来上がりです。（市販のピザソースを使ってもOK!）

写真レシピ提供／
新潟県米消費拡大推進協議会発行
米粉愛のお料理読本（第１号）より

速報! 第20回ヤンマー学生懸賞論文・作文入賞者発表!!

http://www.yanmar.co.jp/aboutus/prize/sakuhin.html ヤンマー学生懸賞論文 検索

第20回テーマ "農が変わる 農が応える 今 未来への布石を"
～生命を育む「食」、食を生み出す「農」、環境を守る「農村漁村」～

作文の部 入賞者の皆さん

論文の部 入賞者の皆さん

作文の部

入賞区分	氏名 学校名 / 学部名 / 学科名	応募テーマ名(主)
金賞	**湯浅 達也** 大分県立農業大学校 / 農学部 / 総合農産科	未来想像図
銀賞	**吉田 光平** 山形県立農業大学校 / 果樹経営学科	「農業の力」に魅せられて
銀賞	**常松 歩** 財団法人　中国四国酪農大学校	酪農の問題点
銅賞	**太 勇也** 鹿児島県立農業大学校 / 農学部 / 果樹科	郷土と家族に誓う 私のめざす夢
銅賞	**赤坂 美土里** 岡山県農業総合センター農業大学校 / 園芸課程	19日間の農業体験を通じて
銅賞	**磯道 宥美** 大分短期大学 / 園芸科	私の目指す人
銅賞	**山口 究** 新潟県農業大学校 / 農学部 / 園芸経営科	自然体験活動を通して
銅賞	**中谷 好孝** 鳥取県立農業大学校 / 養成課程 / 農業経営学科	桃源郷を夢見て…私が目指す 果樹栽培への挑戦

論文の部

入賞区分	氏名 学校名 / 学部名 / 学科名	応募テーマ名(主)
大賞	**荒井 絢子** 明治大学 / 農学部 / 農業経済学科	『茶国=鎖国』からの脱却
優秀賞	**木原 智香** 高知大学大学院 / 総合人間自然科学研究科	宗田節から国際協力を 考える
優秀賞	**髙根 貴明** 青森県営農大学校 / 畜産課程	「真の青森県産牛乳」への 挑戦
佳作	**松﨑 孝博** 鹿児島県立農業大学校 / 農学部 / 果樹科	これからの果樹版 "就農ナビゲーション"
佳作	**井上 貴史** 慶應義塾大学 / 法学部 / 政治学科	農産物と交換に 飲食ができるカフェ
佳作	**渡邉 文隆** デジタルハリウッド大学大学院 / デジタルコンテンツ研究科	全国の農山漁村に「デジタル・ クリエイティブ人材」を
佳作	**佐藤 佳奈美** 明治大学大学院 / 農学研究科	農業発 野菜生まれの 新エネルギー
佳作	**田中 佑典** 京都大学 / 法学部	もっと近くに農業を
佳作	**矢口 陽介** 琉球大学大学院 / 農学研究科	ダチョウを利用した 多目的農業の可能性
佳作	**千葉 直也** 筑波大学 / 第二学群 / 生物資源学類	メシを意識する
佳作	**江森 敬太** 学習院大学 / 経済学部 / 経営学科	新しい流通チャネルの構築
佳作	**中鶴 やよい** 鹿児島県立農業大学校 / 畜産学部 / 養豚科	放牧養豚による耕作放棄地解 消と消費者との双方向農業
佳作	**堂谷 祐介** 岡山大学 / 農学部 / 総合農業科学科	「こせがれ」と「親父」が 日本農業を救う!?

ニッポンを農林水産業から元気にする農林水産広告賞

テーマは ずばり「農業」

広告賞というタイトルは付いていますが、作品制作を通じて、応募者一人ひとりが農業について真剣に考え、日本の農業に対する想いを表現することが狙いです。
応募総数1万1,812点(コピー部門1万1,160作品、ポスターデザイン部門652点)が寄せられ、その中から7名の審査員による一次審査、最終審査を経て、各部門でグランプリ1点、準グランプリ2点と、全体で7点の審査員特別賞が選ばれました。

農林水産広告賞受賞作品決定!

ヤンマーは、
農林水産広告賞を
応援しています。

Wonder Field 応援します!笑顔のあなた

教えてください。あなたのお家のステキな女性のこと。

わが家のステキな女性へ!

Wonderful Women

アンケートをお送りいただいた方の中から30名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント!
(掲載させていただいた方にはもれなくお送り致します)
ご応募締切:平成22年6月30日弊社到着分までとさせていただきます。

青森県 りこさんから お母さんへ

いつもお仕事
ご苦労サマです。四月になると田んぼの方忙しくなりますね。体に気をつけて、じじとばぁたんとお父さんと四人で、おいしいお米作ってくださいね。
大スキ♡なお母さんへ

福岡県 久冨喜久子さんから柴田伊佐子さんへ

お母さん、いつも新鮮で無農薬のおやさいありがとうございます。いつも、「年やき今年を最後に」と言いながら私達の為に作り続けてくれてますネ。今のうちに作り方を教えてもらって…と思うのですがなかなかです。

秋田県 夫さんから 妻さんへ

直売所での売上げで今年も温泉旅行に行こう。新鮮な魚介類一杯食べ、ビール酒呑んで、温泉に入る。最高に幸せ感じる。

石川県 夫・彰さんから 妻・朝子さんへ

50才半ばで公務員をやめ、本格的に始めた稲作経営、年金生活に頼らず生涯現役で頑張ることを夢みて、はや4年。毎日が大変だけど夢が叶うって楽しいネ。
これからもよろしく。

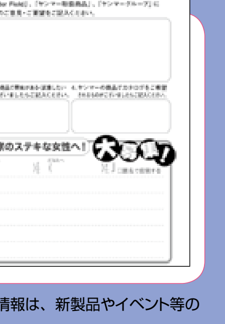
大分県 娘さんから 母さんへ

今年は玉ネギを2町6反植える為、縁の下の力持ちの母はとても張り切ってます。元々の性格からか適当な事が出来ないのが、良くもあり、悪くもあり(笑) これからも、みんなで力を合わせておいしい玉ネギ作ろうネ!

今回のワンダーフィールドも、
『農業で働くステキな女性 Wonderful Women』へ
ご家族の皆さまからのメッセージを大募集します。日ごろは照れくさくて、
なかなか面と向かって口に出しては言えない言葉や、思い、エピソードをハガキに書いて贈ってみませんか?
妻へ、母へ、娘へ、嫁へ･･･。
ワンダーフィールドがあなたに代わってお届けいたします。
(次号に掲載させていただきます。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。)

応募要項

作品テーマ ● わが家のステキな女性Wonderful Women へ
作品文字数 ● 何文字でも結構です。応募ハガキにおさまらない場合は封書にてお送りください。
また、写真等をお送りいただける場合も恐れ入りますが封書にてご送付ください。
送り先 ● 〒530−8321 大阪市北区茶屋町1−32
ヤンマー農機販売株式会社「わが家のステキな女性へ」係
※応募作品のご返却はいたしません。
締切 ● 平成22年6月30日弊社到着分
発表 ● 次号Vol.17に掲載いたします。多数ご応募の場合は選考させていただきますのでご了承ください。



応募はカンタン!こちらの綴じ込みハガキでどうぞ!
写真がある場合や書ききれない場合は恐れ入りますが封書でご送付ください。

*ヤンマーグループでは個人情報の保護についての法令を遵守し、お客様の個人情報の適切な運用・管理を行います。ご記入いただいたお客様の個人情報は、新製品やイベント等のご案内及びアフターサービスの充実などに利用させていただくこと以外、使用することはございません。

YANMAR ホームページのご案内

楽しいブログも満載のヤンマーホームページをお楽しみください。

「ヤンマー TV」ボタンをクリックいただくとニューファーム SAYURI やオリーブ農園の楽しいブログコーナーをご覧いただけます。

ニューファーム SAYURI

オリーブ農園